

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月7日

場所：向原児童館

開催地区：向原地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
道路関係	・スマート I Cができて、利用する車は少ないのではないか。	・議会では、最重要課題としてスマート I Cを車での町の拠点として、南北に道を通す事を言い続けなければいけない。 北に抜ける道として、津久井湖に抜ける道や道志村に抜ける道を提言し続けている。	・当初の予定通り、山北スマートICを拠点に1,300台/日の利用を考えている。
	・秦野峠林道など通行止めの林道を今後お金をかけて通す必要があるのか。地盤が悪いところに費用対効果が期待できない。 山中へ抜ける道のゲートをとってほしい。	・行き止まりになっているので災害時など抜けられる道があればと、山北、松田町の町、議会、議員連盟が協働して県へ要望している。	・山中への道は、作業道で木を出すための道だ。木材の採算性を考えると難しい。
	・スマートICの地元研究グループとは。町議はいるのか。	・清水地区住民の会であり、地元5人外部5人の10人で構成されていて今後のスマートIC周辺の活用を考えている。議員は一名が所属している。	・
交通関係	・地元要望としても出しているが、朝の通勤時の町内循環バスを東山北駅前ロータリーを通る様に、ルート変更して欲しい。 特に6:30～7:30の時間帯は地元企業への通勤者の利便性と、収益面からも検討すべきだ ・町内循環バスの利用状況に応じて、ルート変更・ダイヤ改正すべきではないか。	・町の公共交通ワーキンググループでは時間別の利用者数や、ルート、ダイヤ等データーを元にいろいろ検討していると思う。町の考えを確認すると共に、議会でも町と共に公共交通について検討していく。	・自治会要望の意向に沿うよう検討していく。 ・ルート変更やダイヤ改正については利用状況、ご意見をふまえて必要に応じて対応する。
農業関係	・耕作放棄地を防ぎ、活用できるような条例のようなものをつくったほうがよい。このままでは町外にいる地主の畑は荒れ放題だ。	・課題として研究する。	・農業委員会で耕作地についての意向調査をして、把握に努めている。畑をやりたい人とマッチングも行っている。

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月7日

場所：向原児童館

開催地区：向原地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
観光関係	・道の駅をどうにかすべきではないか。	・	・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして道の駅の下に位置するオアシス公園の駐車場拡張を県と協議中である。また、道の駅とふれあいビレッジは、2つの施設の連携を考えている。
	・さくらの湯は、駅に近い利便性も有り町外利用者も多い。利用拡大につなげる様に駐車場を拡張したり、足柄峠ランナーたちを取り込むなど利便性を向上するようなことを考えてはどうか。	・	・
	・つぶらの公園と大野山を結ぶジップスライド(ジップライン)を設置して、観光客を呼び込んではどうか。	・	・
	・D52の25m延伸については実現させていただきたい。現在は鳥取から整備に来ているが、延伸が実現することで、何日か勉強すれば鉄道関係者が動かすこともできる。また、有料でお客さんを乗せることもでき、収益につながる。	・	・D52整備計画として25m延伸する計画がある。今後、具体的な実施検討をしていく。
	・つぶらの公園の案内看板は、交差点から入り口まで途中で案内看板がないので不安になる。リピートしたくなる施設にしたらどうか。桜やミモザ、アカシヤなど植えたらどうか。	・	・案内看板については確認して県に要望していく。
	・ユーシンブルーも今どういう状況なのか見に行けない人のために情報を発信したほうがいい。	・ユーシンへの道路整備には、3年以上かかると聞いている。	・工事が完了しないと立ち入りできない。
	・ユーシンへはまだ行けない。個人の車では行けないが、専門の車で行けるような仕組みはどうか。	・	
	・丹沢湖の斜面に芝桜等を植えて、多くの人に来てもらい、お金を落としてもらえる様な工夫をしてはどうか。地域の活性化にもつながる。	・企業庁が管理している。芝桜を植えることにはすぐに許可しないと思うが、検討すべきだと思う。	・
	・つぶらの公園と簡保の跡地はどうなっているのか。お湯は出るのか。	・つぶらの公園は当初の予定より、縮小されている。簡保の跡地では、今のままではお湯は出ない。	・
	・道の駅は狭い。川の向いにして、大きい建物で、おみやげや食事、ゆっくり景色を眺められるような駅にしてはどうか。	・道の駅はもっと広い所へと言う声を他の地域でも聞いている。	・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして道の駅の下に位置するオアシス公園の駐車場拡張を県と協議中である。また、道の駅とふれあいビレッジは、2つの施設の連携を考えている。
	・町が行っているイベントで、一番お金が落ちるのは、何のイベントか。	・もみじまつりではないか。他に産業まつり、桜まつり、花火大会等がある。もみじまつり千人鍋の会場は台風19号で被害を受けたが、町は早急な復旧を予定している。	・其々に決算しているが一概に比較は難しい。会費があるなし、売上高、動員数等あり比較できない。
	・つぶらの公園から近くのセラピーロードのコースに、開運の滝があるのでそこまでの道を整備したほうがいい。	・	・開運の滝はつぶらの公園内にある。コースは整備されており、自由に行くことが出来る。つぶらの公園は遊具も増え、子どもから大人まで楽しめる公園である。

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月7日

場所：向原児童館

開催地区：向原地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
公共施設関係	・ 山北体育館跡地に、体育施設の再建は中止すべきではないか。	・ より多くの町民が利用できる複合的な施設となるよう町に要望している。	・ すでに概略のイメージ図が出来上がっている。今後コンセプトや具体的な計画を盛り込んだ計画書を作成していくことになるが、体育施設建設検討委員会を通じ、慎重な検討をしていく。
	・ 旧体育館の跡地はどうなるのか。	・ 町では体育施設を建てると進めているが、議会では、地域のコミュニティの場や子ども達も遊べる場にと要望している。	
人口対策関係	・ 住んでいただくには働く場所が必要では。 山北は静かなところで暮らしたい方のニーズはある。生活の軸足の決め手は仕事。ネットやテレビ電話で仕事のできる企業を誘致したらどうか。 ・ 人に来てもらう町にする。移住者を受け入れないと自治が成立しなくなる。空き家をアパート代わりにすることで、空き家の減少にもつながる。町が推進することで実現する。	・	・ 町は「第2期人口ビジョン・総合戦略」を策定し、人口減少問題、地域課題、町の持続的発展のための諸施策に取り組んでいる。
総務・その他	・ 車で来られる観光客も多く、駐車場はどこか聞かれることが多い。山北駅北口周辺にはもう少し駐車場が必要である。	・	・
	・ 羽田コンクリート跡地には外国人が働いている。町内にも、多くの外国人が居住していることを考えると、ゴミ出しや自治会ルールなど多言語のパンフレットが必要であると思うが用意はあるのか。 事業説明会には社長の出席はなく、地域の思いが伝わっているのか心配。また、洗浄等会社の機能が出来上がった時点で、会社見学会を開くことで、懐疑的に思っている地域との溝も縮まるのではないか。	・ ご近所との友好な関係を考えるとマナーを守ることは必須である。多言語対応のパンフレットの有無を確認する。	・ 多言語対応のパンフレットは無いが、検討する。
			・ ゴミ出し等の問題については、令和元年8月に行政と業者で話し合い、現在はトラブルはない。
			・ 会社見学会は、今後行う予定である。
	・ 尺里地区には公園がない。東名の下にあったが現在は工事で使えない。自治会要望で出したが場所と金がないと言われた。山中プールを壊して公園にとも要望した。	・ 山北町には公園が少ないという声をきくので研究していきたい。	・
	・ みかん農家は後を継ぐ人が少なく、人手が足りない。オーナー制度に取り組んではどうか。	・ 山北町は東京の品川区と交流をしており、この制度の参加者がひだまりの里で野菜を作り、日向地区で実施しているオーナ園に収穫等参加されている。	・

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月7日

場所：向原児童館

開催地区：向原地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
定住対策関係	・東山北1000まちづくり基本計画など進捗状況が全くわからない。計画の完成時期等を示して欲しい。 ・難しいことかもしれないが、町として計画区域とその周辺まで含めた開発に、どのように取り組んでいくのか示して欲しい。 ・具体的な状況等が示され無いとすれば、議員がその点を確認し、町の姿勢を正していくべきだ。	・町から計画の進捗状況の報告を受け、議会として確認していく。	・東山北1000計画は地元関係者との調整、協議を重ね同意を得て進めて行く構想で、想定スケジュールはあるが、個別の課題が多く具体的な計画の完成時期を示すことは難しい。
	・水上地区の新東名宿舎跡地や周辺の休耕地の活用は、具体的な活用法まで提案したほうがよい。100Mくらいの道にも多くの地権者がいる。地権者との問題もあるのではないのか。厳しいと思うが将来の活用を早く決めて行くべきだ。	・	・東山北1000計画で総合的に検討している。
議員のなり手・報酬・定数関係	・議会が弱くなれば町長の言いなりの議会になってしまうのではないかと心配する。	・定数については、議会力が落ちず、監視機能を高め、物言える議会の人数は何人かということで考えている。	・
議員定数	・町民の声がとどくようにするには議員は多ければ多いほどいい。	・	・
議会への要望	・議員が町の答弁に対して、もっと追求し明確な答弁を引き出して欲しい。施策の実施時期や期限等を明確に答弁させるべきだ。	・議会として、進捗状況を確認していく。その内容を議会広報紙に示せるようにしたい。	・
	・各議員が、町民の意見を吸い上げていきたいと考えているのであれば、各自治会の総会に出席し意見を聞き勉強してはどうか。	・町の人たちの意見を吸い上げ、一般質問等に役立てていきたい。この車座集会、おしゃべりカフェ等も一連の動きである	・
	・山北町の議員立法は、今までに何件あるのか。	・政策的な議員立法はできていない。議会で何をやるか決めて、それには議員立法が必要ならばやっていかなければいけない。	・
あり方・その他	・議会だよりも200号ということで、先輩たちが一生懸命作り上げてきたと思う。 ・議会広報モニター制度は良いのではないか。	・町民アンケートや議会広報モニタ、町民登場の企画もあるので、多くの皆様にご協力いただきたい。	・
	・車座はお互いが近いので話しやすい。	・	・